



日独交流150周年  
Jahre Freundschaft  
Deutschland - Japan

# クルト・グントナー & 佐々木 秋子 デュオ・リサイタル

Kurt GUNTNER (Violine) & Akiko SASAKI (Klavier)  
Duo Recital

2010 **10/30** [土] 14 時開演 (13 時半開場)  
Saturday, 30. October 2010

**JT** アートホール アフィニス [虎ノ門]

JT Art Hall "Affinis" in Toranomom

全指定席 (240席) 一般 5000円 学生 4000円

Program 予定されているプログラム

モーツァルト : ヴァイオリン・ソナタ 第 41 番 変ホ長調 KV481  
W.A.Mozart: Sonate für Klavier und Violine Es-dur, KV481

ベートーヴェン : ヴァイオリン・ソナタ 第 7 番 ハ短調 op.30-2  
L.v.Beethoven: Sonate für Klavier und Violine c-moll, op.30-2

シューベルト : ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第 2 番 イ短調 D.385, op.137-2  
F.Schubert : Sonatine für Violine und Klavier Nr.2 a-moll, D.385 OP.137-2

ブラームス : ヴァイオリン・ソナタ第 1 番 ト長調 op.78 「雨の歌」  
J.Brahms : Sonate für Violine und Klavier G-dur, op.78

● チケット取扱

ハーブクラシックス  
Tel.&Fax 042-444-3239  
e-mail : info@herb-classics.jp

東京文化会館チケットサービス  
Tel. 03-5685-0650

● 主催+お問い合わせ

ハーブクラシックス  
Tel.& Fax 042-444-3239  
URL <http://www.herb-classics.jp>

● 後援

ドイツ連邦共和国大使館  
ドイツ学術交流会 (DAAD)

## クルト・グントナー Kurt Guntner - violin



ミュンヘンでW.A.モーツァルトの183回目の誕生日に生まれる。

ミュンヘンにおいてルートヴィヒ・アカマンに、スイスのベルンにおいてマックス・ロスタルにヴァイオリンを師事。ヘンリック・シェリングのマスターコースでさらに研鑽を積む。

18歳の時、ソリストとしてベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲をミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団とともに演奏してデビュー。以後協奏曲のソリストとして当時の著名な指揮者やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等の有名なオーケストラと多数共演する他、ロンドンのPROMS、オーストラリアのABC-Tourにも参加している。

22歳の時、音楽総監督ヨーゼフ・カイルベルトのもとでミュンヘンのバイエルン国立歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスターに就任。

1967年、音楽総監督ルドルフ・ケンペにミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターとして招かれ、同オーケストラの国内外の演奏会における協奏曲のソリストとしても契約する。

1976年、ミュンヘン国立音楽大学にヴァイオリンの専任教授として招聘され、2004年まで務めた。

1962年、カール・リヒターのもとでミュンヘンバツハ管弦楽団のコンサートマスターとソリストを務める。

1969年、カール・リヒターと共に初めて日本で4週間の演奏旅行(東京、大阪)を行った。以後全世界にて演奏旅行を行い、1981年にリヒターが亡くなった後も後継者ハンス・マルティン・シュナイトと共に同様の活動を続ける。

1963年から2000年までアンسバツハのバツハ週間でソリスト、アンサンブル奏者、コンサートマスターを務め、バツハのドッペルコンチェルトなどをヘンリック・シェリング、ハインツ・ホリガー、クリスティアン・テツラフと共演する。さらに1986年からミュンヘン・バツハ管弦楽団の芸術主任とソリストを務め、国内外での数多くの演奏者とCD制作に携わる。

1967年、音楽総監督ルドルフ・ケンペのもとでパイロイト祝祭管弦楽団の第1コンサートマスターを務め、以後1999年まで多くの年度においてこの活動を続ける。

1972年、ピアニストのレオナルド・ホカンソン、チェリストのアンジェリカ・マイとともにオデオン・トリオを結成、世界各地で演奏会を開催。数多くのCD録音、ラジオやテレビでの演奏など、およそ30年間にわたり室内楽の活動をする。

世界各地でマスターコースの講師やコンクールの審査員として活躍しており、受賞・表彰歴も多い。10年間にわたり、ボンDAADの音楽家選抜委員会の委員を務める。さらにミュンヘンのヘンレ出版と協力し、著名なヴァイオリン・ソナタや協奏曲など20曲以上の原典版を発刊している。

2005年より武蔵野音楽大学客員教授として着任。

以上の経歴から、クルト・グントナーはコンサートマスターとしての永年の経験が統合されており、これが音楽家としての彼の人格をきわだたせたものとしている。

1995年、ドイツ連邦共和国から第一等功労十字勲章を授与されている。

## 佐々木 秋子 (ささき あきこ / ピアニスト) Akiko Sasaki - piano



桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。大島正泰氏に師事。

ドイツフライブルク音楽大学大学院に留学、ティボー・ハザイ氏の下で研鑽を積み、同大学院Aufbaustudium首席で卒業。蓼科高原音楽祭賞を受賞。日本室内楽コンクール・デュオ部門入選。

1990年のデビュー・リサイタルから本格的に演奏活動を開始。以後、室内楽シリーズ“ムジツィーレン”を主催する。

2002年、2004年、2005年と秋吉台室内楽セミナー講師として招かれる。

2007年5月ソロ・アルバム“SOAR”をHERB Classicsより発売。レコード芸術2007年6月号で準推薦盤に選ばれる。

2008年7月ウィーン・フィルのソロ・クラリネット奏者ペーター・シュミードルとデュオイベントを行い大成功を収める。

また、チェロの村井将が加わった室内楽のタペ“ムジツィーレン”では、ベートーヴェン《街の歌》やブラームス晩年の傑作クラリネット三重奏曲を演奏し観客を魅了する。

2008年9月東京国立博物館にて初来日の現代ドイツ楽壇を代表する実力派弦楽四重奏団マンデルリング・クアルテットとブラームスのピアノ五重奏曲を共演する。

2008年11月、2008年8月末まで、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターを務めたウエルナー・ヒンクとデュオリサイタルを開き音楽の友2009年1月号誌上で絶賛される。

2009年7月ペーター・シュミードル、2009年12月ウエルナー・ヒンクとデュオリサイタル。

2010年1月、2枚目のソロ・アルバム<シュベルト/ 即興曲集D.899&D.935>をHERB Classicsより発売。レコード芸術2010年2月号で準推薦盤に選ばれる。

ソリストとしての独自性、室内楽におけるアンサンブル・ピアニストとしてのセンスは高く評価されている。

### JTアートホールアフィニス 交通のご案内



#### ■ 電車でお越しの場合

**地下鉄銀座線 虎ノ門駅**  
3番出口より、外堀通りを溜池山王方面へ直進、徒歩4分。

**地下鉄南北線 溜池山王駅**  
9番出口より、外堀通りを虎ノ門方面へ直進、徒歩5分。

**地下鉄日比谷線・千代田線・丸ノ内線 霞ヶ関駅**  
A13番出口より桜田通りを虎ノ門方面へ直進し、外堀通りを溜池山王方面へ直進、徒歩7分。

#### ■ バスでお越しの場合

都営バス  
「都01 霞ヶ関3丁目バス停」より徒歩3分。